

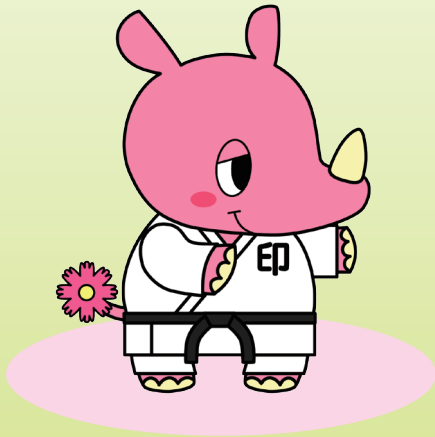
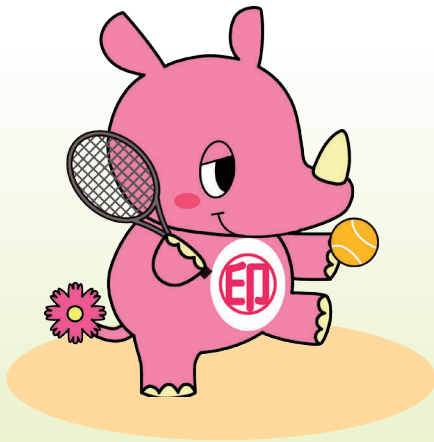
概要版

印西市スポーツ推進基本計画

令和4年度～令和8年度

Sport in Life!

みんないきいき ずっとスポーツを楽しめるまち
いんざい



令和4年3月

印西市

計画策定の背景と趣旨

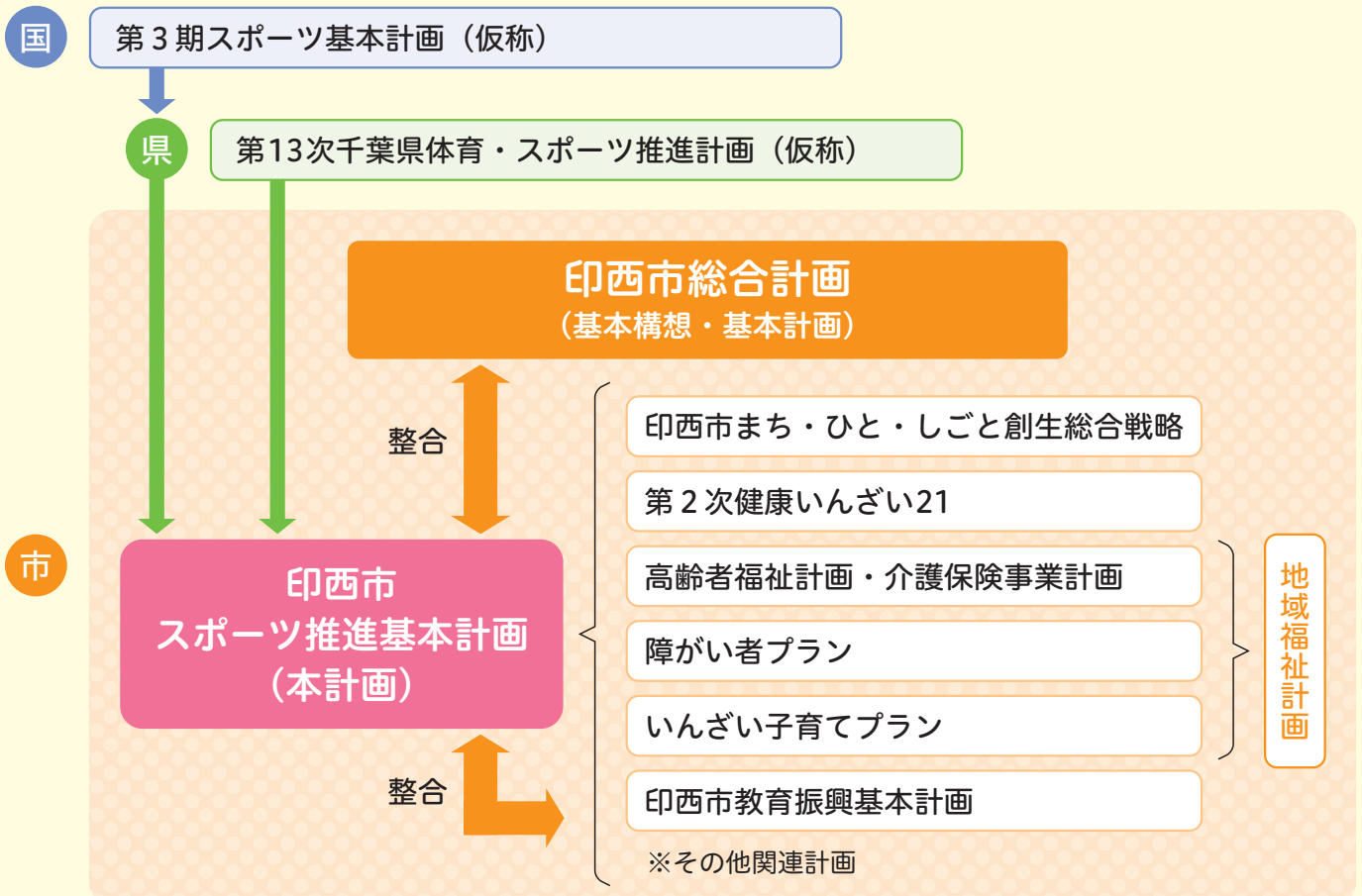
スポーツ施策を取り巻く現状として、前計画の期間中は、2019年ラグビーワールドカップの日本初開催や2021年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機として、スポーツに対する意識や関心が一層高まりを見せました。一方で、新型コロナウイルスの世界的な拡大により、スポーツ活動の自粛や運動施設、競技場などの閉鎖を余儀なくされ、スポーツにおいて重要な「する」「みる」「ささえる」の関わり方も大きく変化しました。

本市では、国の動向やスポーツを取り巻く様々な現状や、「新しい生活様式」を取り入れながら、スポーツへの参加機会の拡充や、スポーツ団体、指導者への支援などに取り組んできました。そして、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが生涯にわたり運動・スポーツを楽しむことができる社会を目指し、本計画を推進して参ります。

計画の位置づけ

本計画の策定については、スポーツ基本法第10条「地方スポーツ推進計画」に該当するものとして、スポーツ基本法の理念に則り、国のスポーツ政策の基本的方向を示す指針である「スポーツ基本計画」を踏まえるとともに、県のスポーツに関する計画や、本市の最上位計画である印西市総合計画、関連する施策分野別計画との整合性を図っています。

●●関係図



計画の期間

本計画は、令和4年度～令和8年度の5年間を期間とします。

●●本計画及び関連計画の期間

平成/令和（年度）	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
印西市総合計画					→								
印西市まち・ひと・しごと創生総合戦略	→				第2期印西市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に推進								
第2次健康いんざい21			→										
第2期教育振興基本計画					→								
スポーツ推進基本計画 (本計画)	(平成29～令和3年) 教育振興基本計画に包含				→								

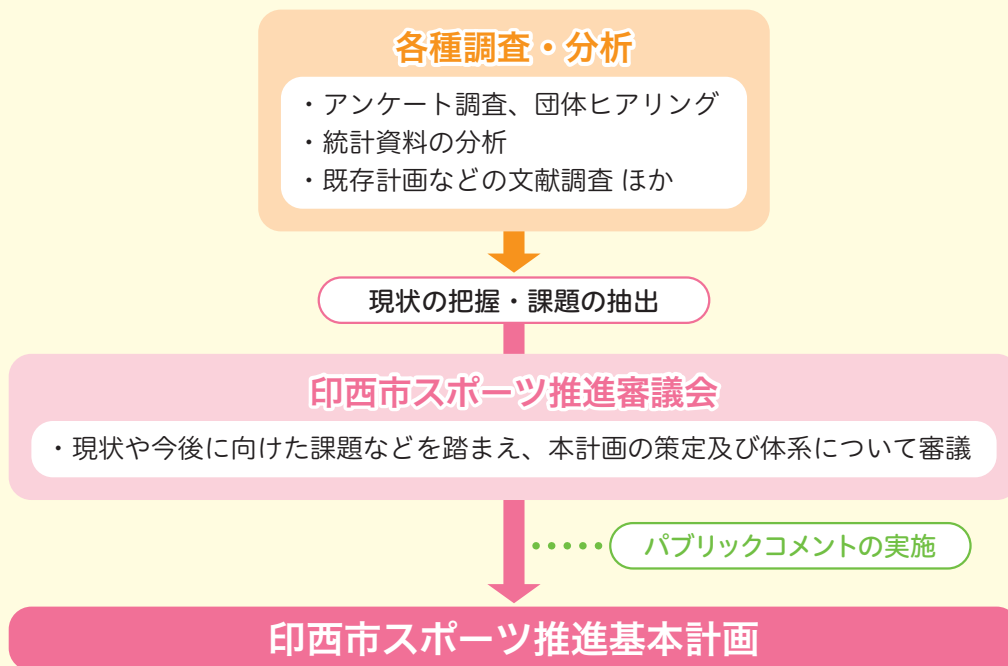


計画策定の体制

本計画は、学識経験者などで構成された「印西市スポーツ推進審議会」に意見を伺い、検討を経て策定しています。

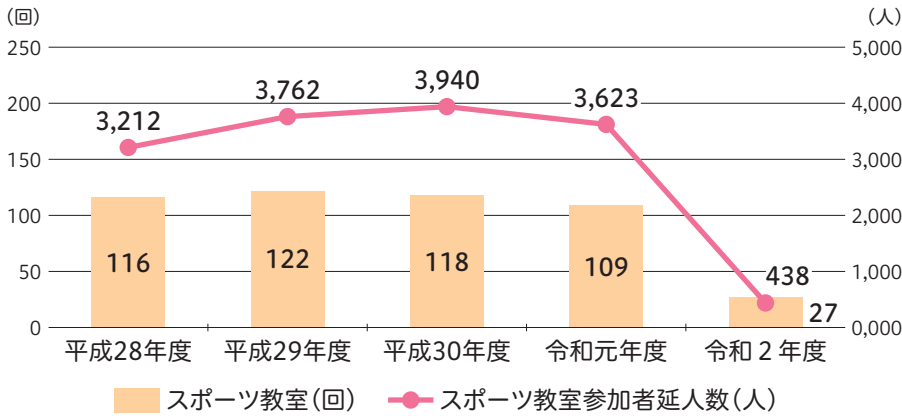
また、策定にあたっては、10歳代から70歳代の市民へ向けたアンケート調査や各スポーツ団体へのヒアリング、パブリックコメントの実施を通じ、ニーズの把握、意見の収集に努めました。

●●体制のイメージ図



印西市の現状

● スポーツ教室の状況

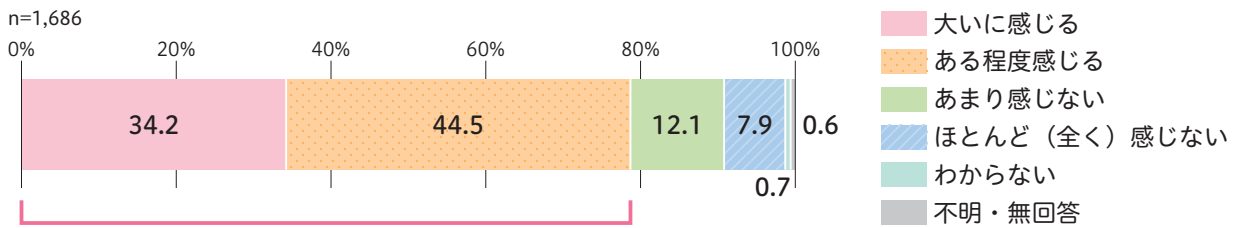


● 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、スポーツ教室の実施回数、参加者数とともに大きく減少。
⇒ 環境の変化に応じたスポーツ活動の継続を！

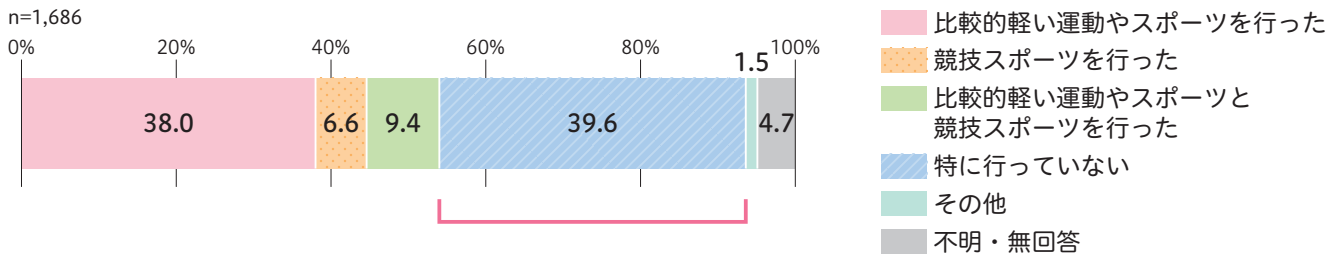
参考資料: スポーツ振興課

● 市民アンケートの結果

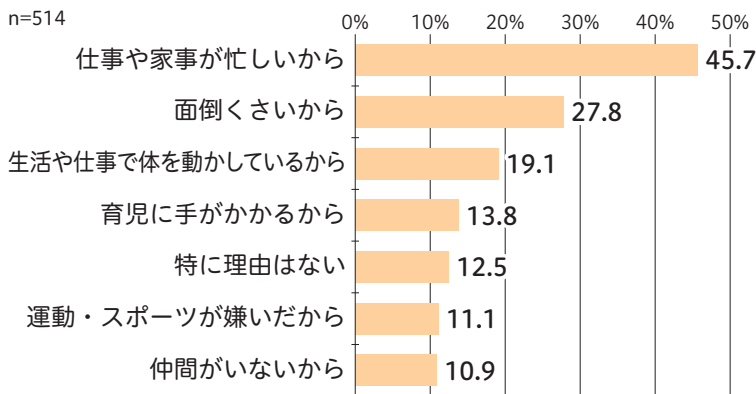
Q あなたは、普段、運動不足を感じますか。



Q ここ数年で、何らかのスポーツを行いましたか。(2019年1～12月(コロナ禍以前))



Q 運動・スポーツをしなかった理由は何ですか。(2019年1～12月(コロナ禍以前))



※上位7項目

● 運動不足を感じている人が約8割。
● 何らかのスポーツを「行っていない」人は約4割。行わなかった理由で最も多かったのは「仕事や家事が忙しいから」。
⇒ 忙しい中でも継続して行える運動の周知や普及に努め、運動習慣の定着化が重要！

計画の基本的な考え方

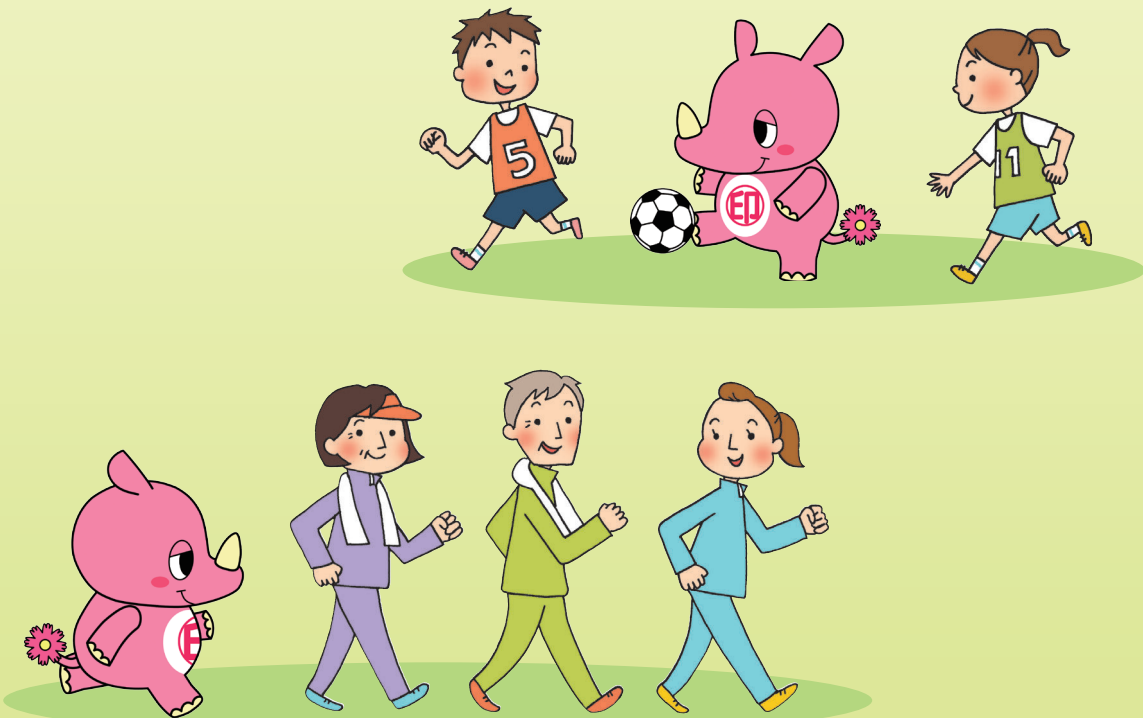
スポーツは私たちが健康でいきいきとした生活を続けていくために、欠かせないものです。また、スポーツを通じた生きがいづくりや住民同士の交流機会の創出など、地域の活性化にも寄与します。

そのため、生涯にわたってスポーツやレクリエーションを楽しむことができ、子どもから高齢者まで市民一人ひとりがいきいきと暮らしていける社会を実現するため、本計画の基本理念を「Sport in Life! みんないきいき ずっとスポーツを楽しめるまち いんざい」と定め、印西市のスポーツ施策を展開していきます。

基本理念

Sport in Life!

みんないきいき ずっとスポーツを楽しめるまち
いんざい



基本理念

Sport in Life! みんないきいき

計画の基本目標

基本目標1

スポーツ参画人口の拡大と人材育成

スポーツの振興には指導者などが大きな役割を果たしています。競技スポーツはもちろんのこと、生涯スポーツにおいては、「スポーツをする機会の少ない人」「普段スポーツをしていない人」の参加を促すためにも、行政だけでなくスポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、スポーツボランティアなど市民との協働により、多様なスポーツ人材の育成を推進していきます。

市民のスポーツ活動を支える多様なスポーツ人材を育成するとともに、その活用を促進するように努め、スポーツ人口の拡大を図ります。

基本目標2

スポーツ環境の充実

スポーツを行うための拠点である施設の維持保全を行うとともに、市民がスポーツに親しみ、継続していくためのスポーツ環境の充実化や、スポーツ施設の観覧設備について、大規模な改修を行う際はバリアフリー化を行います。

また、各スポーツ施設を取り巻く環境や多様な施設を活用し、スポーツに取り組む環境の充実に努めます。

基本目標3

スポーツを通じた共生社会の実現と地域の活性化

子どもから高齢者まで市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動により親しみ、体力の向上や健康の保持・増進を図っていけるよう、スポーツに関する情報提供体制を整備するほか、各種教室やセミナー、スポーツ大会などを開催し、競技力向上の促進やスポーツを通じた地域コミュニケーションの醸成などを目指します。

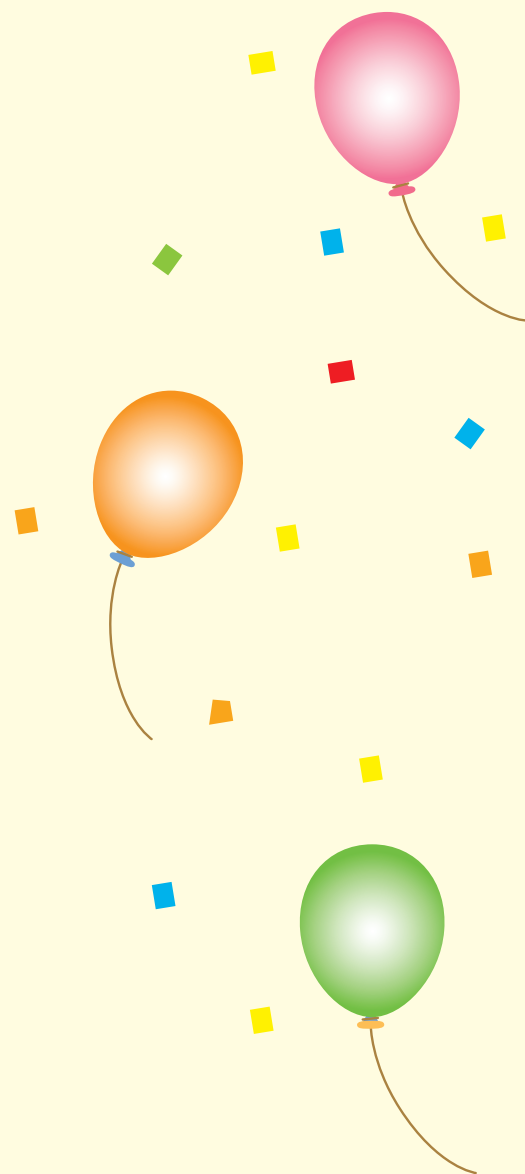
ずっとスポーツを楽しめるまち いんざい

施策の方向性

- スポーツ指導者の育成
- スポーツボランティアの育成
- スポーツ団体等の活動支援
- 競技力向上の推進
- 特色あるスポーツ事業の展開

- 既存スポーツ施設の維持管理
- 自然とふれあえるスポーツ施設の活用
- 利用者の視点に立った施設運営
- 学校体育施設の活用
- スポーツ施設利用の多様化への対応

- スポーツ情報システムの充実
- スポーツによる共生社会づくりの推進
- スポーツを通じた地域コミュニケーションなどの醸成
- 市民ぐるみのスポーツイベントの推進
- スポーツイベントの開催・誘致



基本目標 1 スポーツ参画人口の拡大と人材育成

● スポーツ指導者の育成

市民のスポーツ活動をささえる、多種多様なスポーツ指導者の育成を推進します。

具体的な
取り組み

- スポーツ団体の育成

● スポーツボランティアの育成

スポーツは「する」だけでなく「ささえる」視点が大切であることから、各種スポーツイベントやスポーツ活動をサポートするスポーツボランティアの活動の周知・育成を推進します。

具体的な
取り組み

- スポーツボランティア活動の推進

● スポーツ団体等の活動支援

競技スポーツの選手を育成・強化するため、各種スポーツ団体等の活動を継続して支援していきます。団体活動の支援とスポーツ少年団の活動支援に努めます。

具体的な
取り組み

- スポーツ団体への支援と連携

● 競技力向上の推進

競技力向上のために選手との交流やセミナーの開催を推進します。

具体的な
取り組み

- トップレベル選手との交流
- 専門的指導者等の活用支援

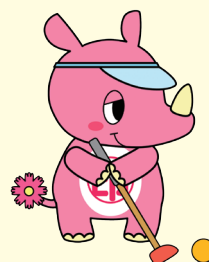


● 特色あるスポーツ事業の展開

市民が楽しめるスポーツとして、スポーツクライミングやパークゴルフなど、印西市における特色あるスポーツの推進を行います。

具体的な
取り組み

- クライミングの普及・推進
- パークゴルフの普及・推進



成果指標

- ① スポーツに関するボランティア活動を行ったことがある割合
7.2% (令和2年度) ➡ 12.0% (令和8年度)
- ② スポーツ指導者数
161人 (令和2年度) ➡ 170人 (令和8年度)
- ③ スポーツ団体 (スポーツ協会・スポーツ少年団) 加入者数
3,634人 (令和2年度) ➡ 3,800人 (令和8年度)

※成果指標については「印西市第2次実施計画」の成果指標を元に設定。

基本目標2 スポーツ環境の充実

● 既存スポーツ施設の維持管理

既存のスポーツ施設の改修時等に合わせ、バックヤード（附帯施設）整備やバリアフリー化を、現状を踏まえた上で推進していきます。また、松山下公園を市民のスポーツ活動の拠点として今後も維持できるよう、大規模なスポーツイベントが開催可能な機能、設備を備えた施設の維持管理に努めます。

具体的な
取り組み

- スポーツ施設の維持保全

● 自然とふれあえるスポーツ施設の活用

河川や湖沼、田園など豊かな自然環境や公園、緑地などを活用した既設のウォーキングロードやジョギングコースなどを活用します。

具体的な
取り組み

- ウォーキングロードの活用

- ジョギングコースの活用

● 利用者の視点に立った施設運営

スポーツ施設の利用手続きの利便性向上を目指すなど、市民の視点に立った施設運営に努めます。

具体的な
取り組み

- スポーツ施設の管理・運営

- スポーツ施設に関する情報提供

● 学校体育施設の活用

市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として、学校体育施設を有効に活用します。

具体的な
取り組み

- 学校体育施設開放事業

● スポーツ施設利用の多様化への対応

多様なスポーツ施設のニーズに対応するために、民間施設などを含め、より一層の施設利用を推進します。

具体的な
取り組み

- 民間施設の有効活用



成果指標

① スポーツ施設利用者数

358,197人（令和2年度） ➡ 420,000人（令和8年度）

基本目標3 スポーツを通じた共生社会の実現と地域の活性化

● スポーツ情報システムの充実

スポーツに関する情報の入手はスポーツへの参加に大きな役割を果たすことから、様々なスポーツ関連の情報を収集し、市民にわかりやすく提供します。

具体的な
取り組み

- 公共施設予約システムの有効活用
- 多様な情報提供体制

● スポーツによる共生社会づくりの推進

運動やスポーツを通じた健康の保持増進に取り組んでいきます。また、市民の誰もが参加しやすいスポーツ教室やイベントの情報発信および開催により、スポーツにふれる機会を提供していきます。同時に、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、これらを継続して実施できるよう支援します。

具体的な
取り組み

- スポーツを通じた健康づくりプログラムの提供
- スポーツ健康相談窓口の推進
- スポーツセミナーの開催
- 健康生活コーディネート事業
- スポーツ教室の推進
- 高齢者が参加できる運動機会の推進
- 高齢者向け教室の開催
- 障がい者向け運動・スポーツプログラムの周知・普及活動
- スポーツボランティアの活用
- スポーツ団体、障がい者団体などとの連携推進

● スポーツを通じた地域コミュニケーションなどの醸成

子どもから高齢者までが「いつでも どこでも 誰とでも」気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりや地域のコミュニケーションを醸成する場として「総合型地域スポーツクラブ」の支援を行い、市民への情報発信などを支援します。

具体的な
取り組み

- 総合型地域スポーツクラブの支援

● 市民ぐるみのスポーツイベントの推進

市民の関心を高めるため、魅力あるイベントづくりを推進します。

具体的な
取り組み

- 市民ぐるみスポーツイベントの開催



● スポーツイベントの開催・誘致

市民がトップアスリートの競技を観て楽しむとともに、スポーツへの関心を高めるようイベントの誘致を推進します。

具体的な
取り組み

- スポーツイベントの誘致

成果指標



- ①週一回以上のスポーツ実施率
48.4% (令和2年度) ➡ 54.0% (令和8年度)
- ②市民スポーツ大会参加者数
619人 (令和2年度) ➡ 870人 (令和8年度)
- ③スポーツ団体 (スポーツ協会・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ) 加入者数
3,734人 (令和2年度) ➡ 3,860人 (令和8年度)

※成果指標については「印西市第2次実施計画」の成果指標を元に設定。

計画の推進体制

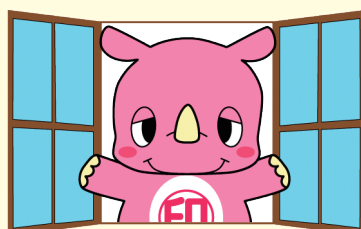
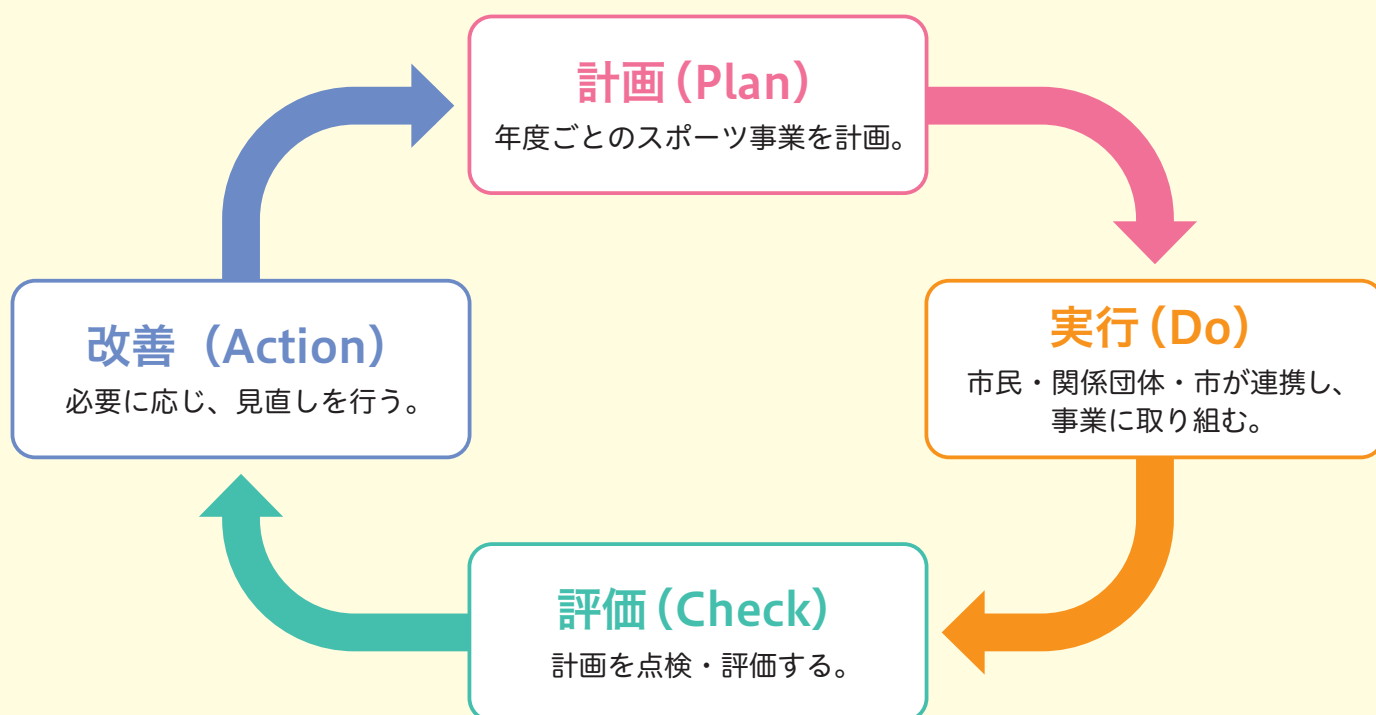
本計画を推進するためには、スポーツに関わるすべての人が、それぞれが担う基本的な役割と責任を自覚し、相互に連携し協力して取り組む必要があります。スポーツ振興課を中心に全庁が一体となり、国や県をはじめ、学校・家庭・地域及び企業や市民団体などと連携・協働し、計画を推進していきます。

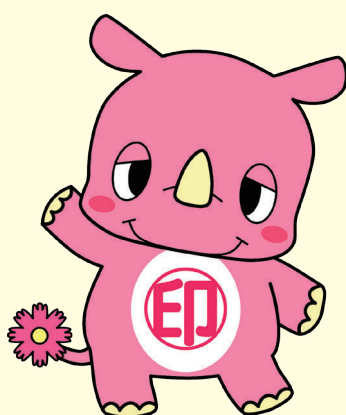
計画の進行管理

本計画の各施策を効果的かつ確実に推進するためには、定期的に進捗状況や効果などの進行管理を行う必要があります。そのため、本計画で示した事業や目標数値の進行管理を実施し、その結果については、市ホームページに公表します。

本計画の効果的な推進に向けて、各施策をPDCAサイクルに基づき実施します。

PDCAサイクルとは、計画(Plan)をたて、それを実行(Do)し、実行の結果を評価(Check)して、さらに計画の見直し(Action)を行うという一連の流れをシステムとして進めていく方法です。





印西市スポーツ推進基本計画【概要版】

令和4年3月

発行：印西市健康子ども部スポーツ振興課

〒270-1367 千葉県印西市浦部275

T E L : 0476-42-8417

F A X : 0476-42-8427